

新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る知事コメント(4月28日)

県内における感染症患者の発生状況についてお知らせいたします。本日は新たに4人の新型コロナウイルス感染者が確認されました。これにより、県内の患者数は141名となりました。

県内における感染者の新規発生数は、昨日はゼロで比較的落ち着いているように見えますが、各病院においては100名近い方が入院し、重症患者用のベッドは限界に近い状態です。

これは、まだまだ予断を許さない状況が続いていることを表しているのであると受け止めています。

県民の皆様には、不要不急の外出の自粛などを、県内の様々な事業者におかれましては休業や営業の縮小などを要請しており、ご苦勞をおかけしておりますが、今が沖縄県の正念場であることをご理解くださり、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

自粛ムードの県内ではございますが、古くから交流のある福建省や台湾からもマスクの寄贈があります。後ほど詳しいことはお話しさせていただきますが、県内外からも本当に様々な支援をいただいております。県としても、マスクや医療資材の確保等について、予算を確保して取り組んでいるところですが、なにぶん品薄状態が続いており、このような支援に、大変勇気づけられております。

応援いただいている皆様に心から感謝申し上げます。

医療現場などを中心に、必要なところにしっかりお届けしたいと思います。

あらためて、県民の皆さまにお願いを申し上げます。

皆様お一人お一人のできる感染予防対策、うがい、手洗い、マスクの着用、そしてお子様も含めて咳エチケットの実施を、しっかりおこなってください。よろしくお願いいたします。

みんなで未来を変えよう！沖縄5分の1アクションを徹底していきましょう。

引き続き、不要不急な外出はお止めください。必要最低限の買い物等を除き、どうぞご自宅でゆっくりとお過ごしいただければと思います。

もあい等の飲み会は勿論、定期総会など、いわゆる三密となる場を設定することや、それに参加することもお止めいただきたいと思います。

離島には十分な医療施設が整っていません。離島に住む方の命と生活を守るため、緊急的な場合を除き、本島から離島への移動、離島から離島への移動についてはお止めください。当然ですが、県をまたいでの行き来もお止めいただきたいと思います。

これから数日は天気のよい日が続くと思われませんが、行楽地へのお出かけはお止めください。屋外とはいえ、人が集中することで密集、密接した状況が生じる危険性は十分に考えられます。

どうぞ、ご家庭の庭先などで日光浴をするなど、ご家庭で楽しんでください。

医療従事者や生活インフラを支えるため、働く人々に感謝の気持ちを是非、忘れないようにしていただきたいと思います。

来沖を予定されていらっしゃる方もいると思いますが、私たち、皆様が愛する沖縄を守るため、どうぞご自分を守るために、今は来沖を我慢していただき、本当に私たちが、皆様を快くお迎えできる、その状況になったときにウトゥイムチ（おもてなし）の心で皆様をお迎えしたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。

繰り返しになりますが、あなたとあなたの大切な人を守るのは、あなたの行動であり、あなたの一つ一つの努力の積み重ねです。努力の積み重ねは、簡単なことです。うがい、手洗い、マスクの着用、咳エチケットをしっかりとおこなって、自分から人にうつさない、自分は人からうつらない、そして医療機関を潰さない、ということについて、さらなるご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

それから、中国福建省および台湾からのマスクの寄贈についてお伝えいたします。

この度、中国福建省から友好県省を締結している沖縄県に対して、先月寄贈の申し出があったマスク2万枚が届きました。台湾からは日華議員懇談会会長の尽力により全国知事会を通して各都道府県宛の寄贈マスク1万枚が、沖縄県分として届きました。

中国福建省から寄贈があったマスクの箱には、清朝時代の言葉を引用し、両地域の友好の間柄を表すメッセージが綴られておりました。

福建省とは琉球王朝時代から約600年に亘る交流の歴史があること等を踏まえ、平成9年に友好県省を締結し、台湾は地理的にも非常に近く地域間交流が活発な地域であり、両地域共に、文化、経済、人的交流を推進しております。

新型コロナウイルスの世界的な感染が拡大し、世界中でマスクが不足する中、今回の福建省および台湾からの寄贈は、両地域が長期に亘り友好交流を促進してきた「友好の証」だと認識しております。

なお、寄贈のあったマスクについては、マスク不足が深刻な医療機関等に配布し、活用させていただきまます。

令和2年4月28日

沖縄県知事 玉城 デニー